

芙蓉総合リース株式会社
(コード番号：8424 東証プライム)
代表取締役社長 織田 寛明

三菱UFJ銀行との「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による シンジケート形式タームローン契約の締結 ～中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」の推進を支える取り組み～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢淳一、以下「三菱UFJ銀行」）と、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「本ファイナンス」）」によるシンジケート形式タームローン契約（以下「本契約」）を締結しました。

本ファイナンスは、「持続可能な開発の3つの側面（経済、環境、社会）のいずれかにおいて潜在的なマイナスの影響が適切に特定され緩和され、なおかつ少なくともそれらの一つの面でプラスの貢献をもたらす」ことを企図するものです。本ファイナンスのインパクト評価は、三菱UFJ銀行が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社と共同で策定した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス フレームワーク」（以下、フレームワーク）に基づいています。

本契約は、芙蓉リースとして4例目のポジティブ・インパクト・ファイナンスによる資金調達であり、実行済みの契約と同様に、芙蓉リースグループの中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」における非財務目標全体が目標（KPI：Key Performance Indicator）に設定されております。これは、中期経営計画の非財務目標全体が、フレームワークにおいて特定されたポジティブ・インパクトを創出するものと評価されたためです。尚、本評価に当たっては、株式会社日本格付研究所より、国連環境計画金融イニシアティブによる「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合している旨の第三者評価を受けています。

本年度よりスタートした芙蓉リースグループの中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」は、事業を通じた社会課題の解決と企業価値の向上を共に実現するCSV(Creating Shared Value)の考え方を軸に据え、企業価値と社会価値を等しく重要なものとして追求することにより持続的な成長を目指す新たな経営戦略です。

非財務目標全体をKPIとすることで、ステークホルダーの皆さまに対して芙蓉リースグループの非財務目標へのコミットメントをより明確化するとともに、環境、社会、経済にもたらすインパクトを包括的に評価するフレームワークに従って進捗状況を開示することにより、ステークホルダーの皆さまとのエンゲージメントの向上を図ってまいります。

※非財務目標を含む中期経営計画の概要は別紙1、詳細につきましては下記 URL よりご覧ください。

<https://www.fgl.co.jp/ir/management/pdf/management-plan.pdf>

◆シンジケート方式タームローン契約の概要

借入人 芙蓉総合リース株式会社
 契約締結日 2023年3月23日
 実行日 2023年3月28日
 アレンジャー 株式会社三菱UFJ銀行
 貸出人 株式会社秋田銀行、株式会社足利銀行、株式会社岩手銀行、株式会社群馬銀行
 株式会社京葉銀行、株式会社三十三銀行、株式会社十八親和銀行
 株式会社百五銀行、株式会社広島銀行、株式会社三菱UFJ銀行、
 株式会社山形銀行、株式会社横浜銀行
 (五十音順)

◆目標 (KPI)

テーマ：脱炭素社会実現への貢献

| 内容 | 目標とモニタリング項目 (KPI等) |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー（不動産の ZEB および ZEH・機械設備）、再生可能エネルギー（太陽光・洋上風力）関連のビジネス推進 蓄電池、水素、サーキュラーエコノミー、SAF などの新しいビジネスモデルへの挑戦 脱炭素推進に資するベンチャー企業への投資 企業・自治体向け脱炭素支援ファイナンスの拡充 カーリース事業による EV、FCV 導入車両数の増加 EV ワンストップサービスによる EV 導入車両数の増加 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026 年度 CO₂削減貢献量 50 万 t-CO₂/年 ■2022～2026 年度 脱炭素推進に向けた資金投下額 累計 3,000 億円 ■2026 年度 車両保有台数の EV・FCV 比率（芙蓉オートリース）30% <p>【モニタリング項目 (KPI等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■CO₂削減貢献量 ■脱炭素推進に向けた資金投下額（脱炭素に資する設備やサービスの提供に係る資金支出、脱炭素に資する事業等への出資・ローン等の金額） ■車両保有台数の EV・FCV 比率（芙蓉オートリース） |
| <ul style="list-style-type: none"> グリーン電力供給 (PPA) サービス、再生可能エネルギー事業者向けファイナンス事業、太陽光発電事業によって再生可能エネルギー供給量を増加 ESCO 事業、省エネ設備/補助金リース事業によって顧客のエネルギー使用量を削減 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026 年度 再エネ発電容量 1,000MW <p>【モニタリング項目 (KPI等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■再エネ発電容量 |

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」によって自治体・企業・団体等の再エネ利用、省エネを推進 「芙蓉 再エネ 100 宣言・サポートプログラム」によって顧客の再エネ利用、省エネを推進 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2022～2026 年度 脱炭素推進ファイナンスの取扱金額 累計 100 億円 <p>【モニタリング項目 (K P I 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■脱炭素推進ファイナンスの取扱金額 |
|---|--|

テーマ：健康と福祉における安心を創出

| 内容 | 目標とモニタリング項目 (K P I 等) |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 建物リース事業による高齢者介護施設で新規の室数を増加 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026 年度 高齢者介護施設の新規提供室数 累計 1,000 室 <p>【モニタリング項目 (K P I 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高齢者介護施設の新規提供室数 |
| <ul style="list-style-type: none"> 病院の開閉院、再編・再生、事業承継、M&A 等の経営課題を持つ医療・介護・調剤事業者に対するヘルスケアファンドの組成や、病院不動産ファイナンス、事業再生・承継ファイナンス等のソリューションを提供 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026 年度 医療・福祉マーケットの経営支援に関するファイナンス額 560 億円 <p>【モニタリング項目 (K P I 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■医療・福祉マーケットの経営支援に関するファイナンス額 |

テーマ：新たな価値創造時間を創出

| 内容 | 目標とモニタリング項目 (K P I 等) |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> BPO サービス提供、DX 化支援によって顧客企業における業務量を削減 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026 年度 顧客の業務量削減時間 100 万時間 (2021 年度対比) <p>【モニタリング項目 (K P I 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■顧客の業務量削減時間 |

テーマ：戦略的人材育成、ダイバーシティ&インクルージョン

| 内容 | 目標とモニタリング項目 (K P I 等) |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 「多様性の確保に向けた人材育成・社内環境整備に関する方針」や「女性の活躍推進に向けた行動計画」を策定し、人材の多様性の推進に向けた施策を実施 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026 年度 女性管理職比率※ (単体) 35% ■2026 年度 人材育成関連費用 300% (単体) (2021 年度対比) <p>※シニアリーダー職 (課長職に相当する役職)</p> <p>【モニタリング項目 (K P I 等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■女性管理職比率 (単体) ■人材育成関連費用 (単体) |

テーマ：循環型社会実現への貢献

| 内容 | 目標とモニタリング項目（KPI等） |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物発生量の抑制 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026年度 返却物件のリユース・リサイクル率 100% ■2026年度 廃プラスチック（返却物件由来）のマテリアル/ケミカルリサイクル率 100% <p>【モニタリング項目（KPI等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■返却物件のリユース・リサイクル率 ■廃プラスチック（返却物件由来）のマテリアル/ケミカルリサイクル率 |

テーマ：健康経営、ワークライフバランスの実践

| 内容 | 目標とモニタリング項目（KPI等） |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 健康経営、ワークライフバランスの実践にむけた取り組み | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026年度 有給休暇取得率（単体）90% ■2026年度 35歳以上人間ドック受診率（単体）100% <p>【モニタリング項目（KPI等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■有給休暇取得率（単体） ■35歳以上人間ドック受診率（単体） |

テーマ：戦略的人材育成、ダイバーシティ&インクルージョン（ネガティブ・インパクト）

| 内容 | 目標とモニタリング項目（KPI等） |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 「多様性の確保に向けた人材育成・社内環境整備に関する方針」や「女性の活躍推進に向けた行動計画」を策定し、人材の多様性の推進に向けた施策を実施 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2026年度 男性育児休暇取得率（単体）100% <p>【モニタリング項目（KPI等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■男性育児休暇取得率（単体） |

テーマ：気候変動問題緩和

| 内容 | 目標とモニタリング項目（KPI等） |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量の削減 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2024年度 再生可能エネルギー使用率 50% ■2024年度 Scope1&2 排出量 30%削減（2020年度比） ■2030年度 再生可能エネルギー使用率 100% ■2030年度 Scope1&2 カーボンニュートラル達成 <p>【モニタリング項目（KPI等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■再生可能エネルギー使用率 ■Scope1&2 排出量 |

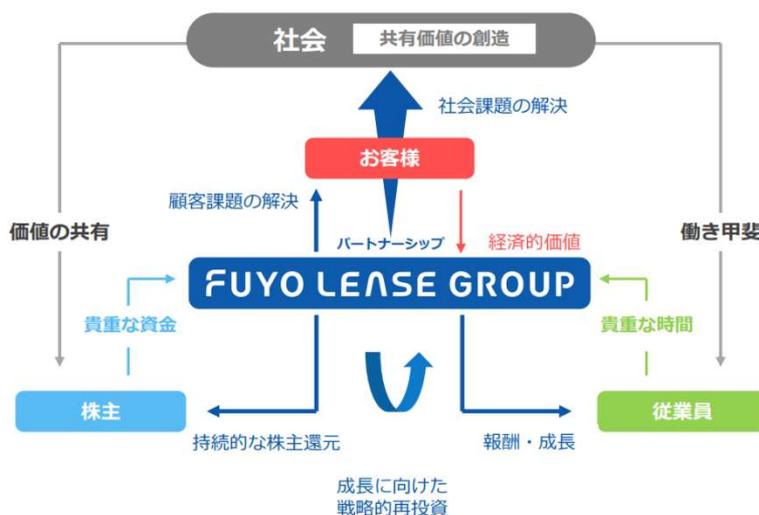
以上

ご参考：中期経営計画 2022-2026 『Fuyo Shared Value 2026』

中期経営計画のビジョン
Fuyo Shared Value 2026

ひとの成長と対話を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現による持続的成長

CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じて、社会課題の解決と企業価値の向上を同時に実現することで、外部環境が大きく変化していく中で力強く持続的に成長する企業グループを目指す



経営目標

財務目標

| 項目 | 実績 (2022年3月期) | 目標値 (2027年3月期) |
|--------------------|---------------|----------------|
| 経常利益 ^{※1} | 527億円 | 750億円 |
| ROA 営業資産残高経常利益率 | 2.06% | 2.5% |
| 自己資本比率 | 11.3% | 13~15% |
| ROE | 10.6% | 10%以上 |

※1 経常利益の中間目標値(2025年3月期)は640億~660億円を想定

非財務目標(抜粋)

| 項目 | 目標値 (2027年3月期) | |
|-------|--|-------------------------|
| 環境 | CO ₂ の削減貢献 | 50万t-CO ₂ /年 |
| | 脱炭素推進に向けた資金投下額(5年間累計) | 3,000億円 |
| | 再生エネルギー容量 ^{※2} | 1,000MW |
| | 保有台数におけるEV-FCV比率 (美蓉オートリースにおける保有比率) | 30% |
| 循環型社会 | 返却物件のリユース・リサイクル率 | 100% |
| | 廃プラスチック(返却物件由来)の マテリアル/ケミカルリサイクル率 | 100% |
| 社会とひと | お客様の業務量削減時間 (BPO/ICTサービスを通じた 新たな価値創造時間の創出) | +100万時間 (2021年度比) |
| 人材投資 | 人材育成関連費用(単体) | 300% (2021年度比) |

※2 再生可能エネルギー発電事業に対する出資およびプロジェクトファイナンス等が対象
(発電容量は持ち分比率・シェアに応じて算出)

非財務目標（マテリアリティ）の概要



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

豊かな社会の実現と持続的な成長に貢献する

事業の領域拡大と更なる進化による新たな価値創造に果敢に挑戦
 変化の兆しを捉え、その先の社会課題の解決に挑戦する

環境

持続可能な地球環境の実現への貢献

脱炭素社会実現への貢献

50万t-CO₂の削減貢献

2030年カーボンニュートラル

 エネルギー環境
 モビリティ

循環型社会実現への貢献

返却物件の廃棄ゼロ

返却物件由来の
廃プラリサイクル[®]100%

 サーキュラーエコノミー

社会とひと

豊かな社会と健やかなひとの持続的な実現への貢献

社会インフラ提供を通じて社会生活に豊かさ・利便性を創出

 モビリティ
 不動産
 航空機

役務・サービス提供を通じて新たな価値創造時間を創出

100万時間の創出

 BPO/ICT

事業者の経営課題への対応を通じ健康と福祉における安心を創出

 医療福祉

ベンチャー投資・インキュベーション

パートナーシップ
お客様に信頼され、お客様と共に価値を創造する



持続的な価値創造を支える体制
社員の挑戦と成長を後押しし、社員と共に成長する




※マテリアルおよびケミカルリサイクル

6 / 6